

# 経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント（4119248）

経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント  
～BIツール導入にあたっては必須になる作業を紹介します

経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義と演習を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっては必須のものとなります。

開催日時	2020年1月17日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 <b>専門スキル</b>
講師	尾田友志 氏 (マネジментテクノロジーズ, LLC 代表 ) 株式会社 日本エル・シー・エー 経営開発部 コンサルタント、青山監査法人/ プライスウォーターハウスシニアマネージャー、日本マンパワー バリューマネージャー養成講座 主任講師、中央青山監査法人/PricewaterhouseCoopers ディレクターを経て、現職。スターティア株式会社 社外取締役(兼務)。 <専門分野>経営工学(統計・オペレーションズリサーチ)・財務・管理会計 JUASオープンセミナー「ビジネスモデル構築の作業ステップと手法」、「仕様変更を最小限に抑える ヒアリング技術」、「外部データ（公共オープンデータ等）収集と分析・活用方法」など講演多数。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	情報システムの開発・保守において管理帳票の設計を担当される方 <b>中級</b>
開催形式	講義
定員	30名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9153
ITCA認定時間	6

## 主な内容

### <<参加者の声>>

- ・管理会計システムに構築に役立つヒントが多数あると思います(情報システム業)
- ・個別の問題、関心毎にフォーカスして説明して頂いたのが、非常に分かりやすかった。  
また、管理帳票におけるプロセスの見方、分析できる仕組みが分かりやすかった(情報システム業)

商品や製品と同様に企業にも導入期・成長期・成熟期・衰退期といったサイクルがあります。成熟期に入った業界に所属する企業でありながら、システムの改修時に管理レポートの修正まで手が回らなかったため、導入期・成長期の管理指標を使い続けていることがあります。他方、会計基準の変更等により見るべき管理項目も変わってきました。今後はキャッシュフロー（フリーキャッシュフロー）がより重視されます。

本セミナーでは、経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっては必須のものとなります。

### <<内容>>

#### 第1部 経営管理レポートの設計・見直しのステップ

- (1) Step-1：自社のなりたい姿を明確にする

- (2) Step-2 : 重要経営管理指標を定義する
- (3) Step-3 : 指標の関連性を検討する
- (4) Step-4 : 定型的管理指標を整備する
- (5) Step-5 : レポーティング

## 第2部 経営管理指標（経営管理レポート）の設計（設定）手法

- (1) 財務の側面から経営管理指標を導き出す
- (2) 企業価値(売上方程式)の側面から経営管理指標を導き出す
- (3) 業界構造分析の側面から経営管理指標を導き出す
- (4) 業界ライフサイクルの側面から経営管理指標を導き出す
- (5) ABC/ABMの側面から経営管理指標を導き出す
- (6) 定性指標・その他の側面から経営管理指標を導き出す